

三菱電機の暗号技術 20年間の歩み

三菱電機の暗号技術は1993年「線形解読法」の発明にはじまります。1995年発表の暗号アルゴリズム「MISTY」は2004年に全国発明表彰恩賜発明賞を受賞、2005年にはISOの国際標準暗号となりました。その後も関数型暗号や秘匿検索技術など、世界最先端の暗号技術の研究開発をおこなっています。

1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
●新暗号解読手法「線形解読法」を発表	●線形解読法で米国標準暗号(当時)DESの解読に世界で初めて成功	●暗号アルゴリズム「MISTY」発表			●MISTYの基本特許無償化を発表		●国内初の量子暗号通信システム実験に成功 ●暗号アルゴリズム「KASUMI」が3G携帯電話(WCDMA)国際標準暗号に採用		●暗号アルゴリズム「KASUMI」が2G携帯電話(GSM)国際標準暗号に採用	●電子政府推奨暗号に「MISTY」が認定 ●第35回市村産業賞本賞受賞	●既設ファイバー世界最長距離(当時)96KMの量子暗号通信フィールド試験に成功 ●平成16年度全国発明表彰 恩賜発明賞 受賞	●ISO国際標準規格に「MISTY」採用 (ISO/IEC18033-1)					●量子暗号を用いたワンタイムパッド携帯電話ソフトウェア発表 ●クラウド時代の新暗号技術「関数型暗号」発表 (三菱電機・NTT)		●米国RSA CONFERENCE AWARD 受賞	●松井暗号プロジェクトグループ創設 ●クラウド上で暗号化したまま検索とアクセス制御を両立させた「秘匿検索基盤ソフトウェア」発表	